

疑問・質問



知識・情報

院外処方せんについて



すべて院外処方せん扱いになるようですが、お客（患者）のことを考えない一方的な処置だと考えます。すべて調剤薬局に委ねるのではなく、患者サイドで、病院か調剤薬局かの選択ができるようにすべきです。

当院は、地域の医療機関と連携を図りながら、医療の機能分担を推進しています。これは、初期診療については地域の診療所などで受けていただき、入院や専門治療が必要な方は病院で受けていただくというシステムです。

当院の院外処方せん実施もこの地域医療システムの一環として実施されているもので、外来の調剤を地域の調剤薬局にお任せすることにより、当院の薬剤師は入院患者様に「服薬指導」を行うことができます。それにより「計画的な服薬管理」が可能となっており、充実した入院生活と一日も早い社会復帰に役立っています。

このことから、特別の場合を除き原則院外処方せんとさせていただきます。その趣旨をご理解いただけますようお願いいたします。



HOT ひといき

寒さに負けない鍋物の話

12月になると夜はめっきり冷えてきます。こんな日の夜は鍋物を囲んで、あつあつ、フーフー、ほっかほっか…。というのはいかがでしょうか。

ところでこの鍋物、食物歴史の研究家の話ではルーツは縄文時代、1万2千年前の土器の発明に始まるのだそうです。初めて「煮る」ことができるようになって、堅いものを柔らかくしたり、渋みやあくを抜くこともできる、そして何よりも、様々な材料の味がミックスされた複雑微妙な旨味をつくりだせるようになったのです。これは焼くことが中心だった当時の人々にとって、大きな味覚革命だったことでしょう。もっとも今の様式になったのは江戸時代だそうです。

さて、この鍋物、いったい何種類ぐらいあると思います。毎晩ちがう鍋物を食べ続けても1年以上かかります。食材料の数だけ鍋物があるぐらいです。

今、厚生労働省は食生活指針で「1日に30種類の食品」を摂取することを目標にしていますが、寄せ鍋にすると15種類ぐらいの食品が食べられます。特に現代人に不足しがちな野菜が摂れてファイバーリッチになります。また最後の煮汁を使って雑炊にすれば、食品から溶出した微量栄養素を、しっかり摂ることができます。さあ、お宅も今夜はお鍋にはいかがですか。



病院だより

市立豊中病院ニュース

Vol.2

TOYONAKA MUNICIPAL HOSPITAL

基本理念

豊中市の地域中核病院として

『心温かな信頼される医療』を提供します。

「第1回 市立豊中病院がん医療公開講座」を開催しました

当院は平成14年12月に厚生労働省の「地域がん診療拠点病院」に指定されました。これを機に、去る11月15日に「ゆやホール」において、約270人の皆さまのご参加をいただき、がん医療公開講座を開催しました。当日は、当院の池田公正外科部長が大腸がんの予防・診断・治療について講演を行いました。

地域がん診療拠点病院

- がん治療率の向上を目指す。メディカルフロンティア戦略。
- 大阪府下では、9つの病院が厚生労働省より指定。
- 北摂地区を中心に質の高いがん医療を提供する。

知っておきたいがん医療の選び方

大腸がん予防・診断・治療の最前線から

市立豊中病院 外科部長 池田 公正

大腸がん患者は急増しています

がん患者数は増加の一途にあります。1995年には45万人であったものが2015年には90万人に倍増し、その中でも大腸がんの患者数が胃がんをぬいて第1位になると推測されています。市立豊中病院（外科）においてもがんの手術件数は年間500件を超え、とくに大腸がんは1997年より胃がんをぬいて第1位（年間約170件）となっています。

大腸がんの予防・診断

大腸がんは動物性脂肪の取り過ぎなど食生活が原因と言われていますが、確実な予防法はありません。やはり、早期診断・早期治療が第一です。年1回の便潜血検査をすることで大腸がんによる死亡率を33%も減少させる効果があると推測されています。もしも便通の異常（血便・下血・排便習慣の変化）やお腹の異常（腹痛・腹部膨満）を認めた場合には、便の検査に加えて、注腸造影や大腸内視鏡といった精密検査をお勧めします。

大腸がんの治療

大腸がんの治療法は、近年とくにこの20年間でめざましい進歩をとげています。大腸内視鏡による早期がんの切除は当院でも年間約80件にも及び、手術法も根治性・安全性はもちろん、自律神経や自然肛門を温存する機能温存手術が行われています。また抗がん剤治療も外来通院で行い（年間約800件）、仕事との両立も十分可能です。現在も新たな治療法がさまざまな角度から検討されており、さらなる大腸がんの治療率の向上が見込まれています。市立豊中病院は厚生労働省により「地域がん診療拠点病院」に指定されています。われわれ医療スタッフは、今後も効果的な治療法を積極的に取り入れ、北摂地区を中心に質の高いがん医療を提供したいと考えております。

〒560-8565 豊中市柴原町4丁目14番1号 TEL (06)6843-0101(代表) FAX (06)6858-3531
(URL) <http://www.chp.toyonaka.osaka.jp/>

編集・発行：市立豊中病院広報委員会(病院管理課) 発行月：平成15年(2003年)12月